

アジア経済

2020.9

Vol.61 No.3

論文

ポスト紛争社会の政治動員と投票率の関係——イラクにおけるサーベイ実験から——
山尾 大・浜中新吾

強まる反インフォーマリテイの規範——マニラ首都圏スラムの「盗電」を事例に——
宮川慎司

特別連載

インタビューで知る研究最前線 第2回
宇山智彦・樋渡雅人・熊倉 潤・地田徹朗

書評

紹介

第41回発展途上国研究奨励賞 講評・受賞のことば

『アジア経済』ウェブ公開についてのお知らせ

『アジア経済』は、迅速かつ広範な研究成果の発信を目指し、紙媒体刊行後、各記事を即時ウェブサイトにて公開しています。また、2019年から学術ジャーナルのポータルサイトであるJ-STAGEを通してDOI（デジタルオブジェクト識別子）を取得し、アクセスと利便性の向上を図っています。

各記事は以下のアドレスから閲覧・検索いただけます。

<https://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Periodicals/Ajia.html>

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ajiakeizai/-char/ja>

『アジア経済』への投稿について

本誌は1960年に、発展途上地域を対象とした社会科学分野の専門的学術誌として創刊され現在に至っています。発展途上地域研究の発展に貢献するため、誌面を広く所内外の研究者に開放し、質の向上に努めています。

- 本誌は常時投稿を受け付けています。どなたでも自由に投稿できます。受け付ける原稿は、発展途上地域（アジア、アフリカ、ラテンアメリカ、中東、オセアニア、旧ソ連・東欧圏など）を対象としたもので、政治、経済、社会、法律などに関する論文、研究ノート、研究レビュー、資料、現地報告、研究機関紹介、書評論文、書評で、未発表のものに限ります。なお、本誌に掲載された原稿の内容に関するご意見も投稿として受け付けます。使用言語は日本語に限ります。
- 本誌は創刊以来原稿検討制度を維持しています。幾度かの制度改定を経て、現在は以下のような方式を採用しています。
提出された原稿は、当研究所職員・外部投稿者の別なく、当研究所内外の2名以上のレフェリーによる査読を経て、編集委員会において採用の可否を決定します。査読に当たっては、予断を排し客観性を保つために、レフェリーに対しては原稿執筆者の名前を伏せて依頼し、原稿執筆者に対してもレフェリーの名前は通知しません。
- 投稿は原則として電子メールでのみ受け付けます。投稿される方は、当研究所ウェブサイトの以下のページをご覧のうえ、所定の分量・書式・投稿方法に従ってご投稿ください。
<https://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Periodicals/Ajia/toukou.html>
- 投稿に関するお問い合わせ先——〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3-2-2
独立行政法人日本貿易振興機構
アジア経済研究所学術情報センター成果出版課『アジア経済』編集部
電話 043-299-9538 Eメール ajiak@ide.go.jp

本誌の編集方針、企画の審議、原稿の審査は下記編集委員会が行っています。

2020年度編集委員会——委員長：安倍 誠、委員：粕谷祐子（慶應義塾大学）、
金 成垣（東京大学）、澤田ゆかり（東京外国語大学）、
岩崎葉子、岡奈津子、小林昌之、橋口善浩、
湊 一樹、山田七絵

編集部：池上健慈、高橋 学、松原浩司、加納華奈子

2020年度書評分科会——座 長：岡奈津子、委員：會田剛史、内田陽子、
太田仁志、長田紀之、佐藤千鶴子、久末亮一、
松本はる香、山岡加奈子、山下恵理

ア ジ ア 経 済

第 61 卷 第 3 号

2020 年 9 月

目 次

論 文

ポスト紛争社会の政治動員と投票率の関係
——イラクにおけるサーベイ実験から——……………山尾 大・浜中新吾…… 2

強まる反インフォーマリティの規範
——マニラ首都圏スラムの「盗電」を事例に——……………宮 川 慎 司…… 28

特別連載

インタビューで知る研究最前線 第 2 回……………宇 山 智 彦
樋 渡 雅 人…… 61
熊 倉 潤
地 田 徹 朗

書 評

佐藤仁著『反転する環境国家
——「持続可能性」の罫をこえて——』……………金 沢 謙 太 郎…… 97

隋藝著『中国東北における共産党と基層民衆 1945-1951』……………鄭 浩 瀾……101

山田七絵著『現代中国の農村発展と資源管理
——村による集団所有と経営——』……………加 治 佐 敬……105

石塚迅著『現代中国と立憲主義』……………御手洗 大 輔……109

竹田敏之著『現代アラビア語の発展とアラブ文化の新時代
——湾岸諸国・エジプトからモーリタニアまで——』……………渡 邊 祥 子……114

Sophia Kalantzakos, *The EU, US and China Tackling Climate Change: Policies and Alliances for the Anthropocene*……………鄭 方 婷……119

Nanjala Nyabola, *Digital Democracy, Analogue Politics: How the Internet Era is Transforming Politics in Kenya*……………白 戸 圭 一……123

紹 介

石川幸一・馬田啓一・清水一史編著『アジアの経済統合と保護主義
——変わる通商秩序の構図——』……………梅 崎 創……127

第 41 回発展途上国研究奨励賞の表彰について…………… 129

編集後記

新型コロナウイルスの全世界的な感染拡大により、地域研究を取り巻く環境は一変しました。近年、多くの研究者にとって現地に頻繁に訪問あるいは長期に滞在して調査をすることは当たり前になっていましたが、渡航がまったくできなくなりました。これまで培ってきた現地のネットワークを利用して調査を委託しようにも、ロックダウンその他感染拡大防止のための措置によって多くの地域は調査をできる状況ではありません。他方で、感染拡大を契機に Zoom などオンライン・ツールが爆発的に普及しました。これにより現地との遠隔でのコミュニケーションは容易になり、学術セミナー等への参加も以前と比べて敷居が低くなったように感じます。

また言うまでもなく感染拡大が各国・地域の経済・政治・社会に与えている影響は非常に大きく、解明されるべき大きな研究テーマとして浮上しています。先行きが見通せないなかで、これからどのように研究成果を出していくか、地域研究者一人ひとりが日々考え、悩んでいることと思います。そこから新たな発想の研究が生まれることを期待しています。

今号は特別連載「インタビューで知る研究最前線」第2回を掲載しています。中央アジア研究の最前線の紹介を通じて、中央アジア研究こそ各分野の最前線となっていることを実感できる内容となっています。専門地域・分野を問わず多くの方に一読いただければと思います。 (M.A)

お詫びと訂正

本誌第61巻第2号（2020年6月）に下記の誤りがありましたので、お詫びして訂正致します。

記

箇所：書評（82ページ）タイトル

（誤）平田和久著

（正）平田知久著

Contents

Articles

- Political Mobilisation and Its Impact on Voter Turnout: A Survey Experiment in Iraq Dai Yamao
Shingo Hamanaka
Strengthening of Anti-Informality as a Social Norm: A Case Study of Electricity Theft in
Metro Manila Shinji Miyagawa

Special Feature

- Researcher Interview: State of the Art (2) Tomohiko Uyama
Masato Hiwatari
Jun Kumakura
Tetsuro Chida

Book Reviews

- Jin Sato, *Inversion of Environmental States: Beyond the Trap of "Sustainability"*
(in Japanese) Kentaro Kanazawa
Sui Yi, *Communist Party and Grassroots People in Northeast China 1945-1951*
(in Japanese) Zheng Haolan
Nanae Yamada, *Resource-driven Rural Development in Contemporary China:
Collective Ownership and Management by Villages* (in Japanese) Kei Kajisa
Jin Ishizuka, *Modern China and Constitutionalism* (in Japanese) Daisuke Mitarai
Toshiyuki Takeda, *Developments in Contemporary Arabic and the Emergence of a New
Arab Culture: From the Gulf States and Egypt to Mauritania* (in Japanese) Shoko Watanabe
Sophia Kalantzakos, *The EU, US and China Tackling Climate Change: Policies and
Alliances for the Anthropocene* Cheng Fang-Ting
Nanjala Nyabola, *Digital Democracy, Analogue Politics: How the Internet Era is
Transforming Politics in Kenya* Keiichi Shirato

Bookcase

- Koichi Ishikawa, Keiichi Umada and Kazushi Shimizu, *Asian Economic Integration and
Protectionism* (in Japanese) So Umezaki

Commendation for Outstanding Publications:

Award for the Promotion of Studies on Developing Countries in 2020

Quarterly Journal of
Institute of Developing Economies

Japan External Trade Organization

3-2-2, Wakaba, Mihama-ku, Chiba-shi, Chiba, 261-8545, Japan

定価 2200 円 本体 2000 円 (税10%)

アジア経済通巻629号

雑誌01433-09



4910014330900

02000